

千葉市政担当記者 様

市立小中学校で「障害者アスリートによる講話・競技体験会」を行います！
 ～6月実施校のお知らせ～

千葉市では、車椅子スポーツの聖地を目指し、大会支援や競技の普及促進を図っていることや、東京2020パラリンピック競技大会で4競技（車いすフェンシング、テコンドー、ゴールボール、シッティングバレーボール）が開催予定です。

このことから、児童生徒にパラスポーツの魅力や素晴らしさを体感してもらう場として、市内小中学校において、昨年に引き続き、障害者アスリートによる学校訪問を行います。

つきましては、6月に以下の小中学校で実施しますので、お知らせします。

1 実施概要

(1) 訪問日程等

日 時	実施校	参加予定児童・生徒	実施競技
6月8日(木) 10:30～12:05	検見川小学校 (花見川区検見川町3-322-23)	6年生75人	車椅子バスケットボール
6月15日(木) 13:30～15:10	幕張中学校 (花見川区幕張町4-45)	1～3年生404人	車椅子バスケットボール
6月21日(水) 13:30～15:20	白井中学校 (若葉区野呂町623)	1～3年生106人	ウィルチェアーラグビー
6月27日(火) 10:35～12:10	真砂東小学校 (美浜区真砂2-13-1)	5年生64人	車椅子バスケットボール
6月28日(水) 13:50～15:25	小中台南小学校 (稲毛区小中台8-15-1)	4年生81人	ウィルチェアーラグビー
6月29日(木) 13:45～15:35	さつきが丘中学校 (花見川区さつきが丘2-15)	2年生103人	車椅子バスケットボール
6月30日(金) 13:45～15:20	朝日ヶ丘小学校 (花見川区朝日ヶ丘2-6-1)	6年生33人	ウィルチェアーラグビー

(2) 講師(予定)

- ア 車椅子バスケットボール 千葉ホークス 田中 恒一 選手
 植木 隆人 選手
 山口 健二 選手
 川原 凜 選手 (U-23 日本代表)
 杉山 浩 ヘッドコーチ
- イ ウィルチェアーラグビー RIZE CHIBA 官野 一彦 選手 (日本代表、千葉市職員)
 今井 友明 選手 (日本代表) 他

※いずれの競技も、担当講師は、日程により異なります。

1回の訪問で、講師人数は2～4名程度の予定です。

(3) 内容 競技体験及び講話

※6月27日実施の真砂東小学校の訪問では、講師が児童と一緒に給食を食べる予定です。

2 その他

(1) 当事業は、ワンアップ・アド・システム株式会社へ業務委託をして実施します。当日の取材を希望の方は、実施日前日の12時までに委託事業者へご連絡ください。

(委託事業者) ワンアップ・アド・システム株式会社 担当：山本氏 090-6049-5829

《参考》事業者ホームページ <http://www.oneupad.co.jp/>

(2) 平成29年度は、計50校の小中学校で実施予定です。

体験競技の紹介

○車椅子バスケットボール

車椅子バスケットボールは、コート大きさやゴールの高さなど、基本的には一般のバスケットボールと同じルールが適用されます。ダブルドリブルはありません。

学校訪問では、競技用車椅子に乗車してのリレーや、ゲームを行います。

《講師のチーム紹介：千葉ホークス》

千葉ホークスは、千葉県障害者スポーツレクリエーションセンターを中心に活動を行っており、土子大輔選手、千脇貢選手が昨年のリオパラリンピックに選出されたほか、川原凜選手は、現在、男子U-23日本代表として活躍しています。



昨年の競技体験の様子

○ウィルチェアーラグビー

ウィルチェアーラグビーは、四肢に障害のある方の競技で、車椅子同士がぶつかり合う激しいボディコンタクトが特徴です。バスケットボールと同じ広さのコートで、バレーボール5号球をもとに開発された公式専用球を使用します。

学校訪問では、主に競技用車椅子に乗車し、選手とのタッチを体験します。

《講師のチーム紹介：RIZE CHIBA》

RIZE CHIBAは、千葉市ハーモニープラザや千葉県障害者スポーツレクリエーションセンターで活動を行っており、昨年のリオパラリンピックでは、官野一彦選手、今井友明選手、庄子健選手（当時）の3名が日本代表に選出され、銅メダルを獲得しました。



昨年の競技体験の様子